

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【公開番号】特開 2019-84234 (P2019-84234A)

【公開日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報 2019-021

【出願番号】特願 2017-216466 (P2017-216466)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出するスロットマシンにおいて、

遊技の進行を遅延させる遅延制御についての遅延制御情報を記憶領域に記憶する記憶手段と、

前記遅延制御情報として第 1 遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における第 1 タイミングで遅延制御を行う第 1 遅延制御手段と、

前記遅延制御情報として第 2 遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における前記第 1 タイミングと異なる第 2 タイミングで遅延制御を行う第 2 遅延制御手段と、

前記第 1 遅延制御手段により遅延制御が行われたときと前記第 2 遅延制御手段により遅延制御が行われたときとのいずれであっても、単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する初期化手段とを備え、

前記初期化手段は、単位遊技において遅延制御が実行されなかったときであっても、該単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する、スロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(A) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出するスロットマシンにおいて、

遊技の進行を遅延させる遅延制御についての遅延制御情報を記憶領域に記憶する記憶手段と、

前記遅延制御情報として第 1 遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における第 1 タイミングで遅延制御を行う第 1 遅延制御手段と、

前記遅延制御情報として第 2 遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における前記

第 1 タイミングと異なる第 2 タイミングで遅延制御を行う第 2 遅延制御手段と、

前記第 1 遅延制御手段により遅延制御が行われたときと前記第 2 遅延制御手段により遅延制御が行われたときとのいずれであっても、単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する初期化手段とを備え、

前記初期化手段は、単位遊技において遅延制御が実行されなかったときであっても、該単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する。

( 1 ) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出するスロットマシンにおいて、

遊技の進行を遅延させる遅延制御（たとえば、フリーズ）についての遅延制御情報（たとえば、フリーズ番号）を記憶領域（たとえば、図 7 のフリーズ番号領域 8 8 ）に記憶する記憶手段と、

前記遅延制御情報として第 1 遅延情報が記憶されているときに（たとえば、図 6 の第 1 停止時フリーズのフリーズ番号が格納されているとき）、単位遊技における第 1 タイミング（たとえば、第 1 停止時）で遅延制御を行う第 1 遅延制御手段と、

前記遅延制御情報として第 2 遅延情報が記憶されているときに（たとえば、図 6 の第 2 停止時フリーズのフリーズ番号が格納されているとき）、単位遊技における前記第 1 タイミングと異なる第 2 タイミング（たとえば、第 2 停止時）で遅延制御を行う第 2 遅延制御手段と、

前記第 1 遅延制御手段により遅延制御が行われたときと前記第 2 遅延制御手段により遅延制御が行われたときとのいずれであっても、単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する（たとえば、図 7 の 4 印に示すように、実行されたフリーズの種別に関わらず、ゲーム終了時処理でフリーズ番号領域 8 8 を初期化する）初期化手段とを備える。